

平成 28 年 10 月 4 日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命 山形県上山市と健康増進に関する協定書を締結

～クアオルト（健康保養地）を活用した従業員の健康づくり～

T & D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、平成 28 年 10 月 3 日、山形県上山市との間で、「上山型温泉クアオルト（健康保養地）活用包括的連携に関する協定書」を締結しましたので、お知らせいたします。

当社は、「健康寿命の延伸」という社会的課題に応えることを目的として、本年 6 月より「太陽の元気プロジェクト」を開始し、「従業員」「お客様」「社会」を元気にする取り組みを推進しています。その中で、「従業員」を元気にする取り組みとして、ワークスタイルの変革や効率的な働き方によるワーク・ライフ・バランスの実現を図ってまいりました。この度、山形県上山市が推進する「上山型温泉クアオルト（健康保養地）事業^(※1)」を活用した従業員の健康づくりを進めることとし、包括的連携に関する協定書を締結いたしました。同市は、全国に先駆けて、自然環境や温泉、食などの地域資源を活かしながら地域住民の健康増進と交流人口の拡大による地域活性化を目指した「上山温泉クアオルト事業」を展開しており、この取り組みと連携することで、従業員の一層の健康増進を図ってまいります。従業員一人ひとりがいきいきと働くことができる元気な職場づくりを進めていくことで、新しい商品・サービス等の新たな価値を創造してまいります。

「上山型温泉クアオルト（健康保養地）活用包括的連携に関する協定書」の概要

- ・クアオルト健康ウォーキング^(※2)や上山温泉クアオルト事業を活用した従業員の健康づくりの推進に向けた各種支援の実施
- ・上山型温泉クアオルト事業の普及啓発及び地域活性化の推進

(※1) 「上山型温泉クアオルト（健康保養地）事業」

クアオルトとは、ドイツ語で「健康保養地・療養地」を意味します。上山市は、先進ドイツに倣い、豊かな自然や温泉、旬産旬消の食、医学的根拠に基づくウォーキングなどを組み合わせた心地よい体験を通じて、健康・観光・環境の3つを柱に、市民の健康増進と交流人口の拡大による地域活性化を目的に、全国に先駆けて“心と体がうるおう”長期滞在型の質の高い健康保養地づくりに取り組んでいます。

(※2) 「クアオルト健康ウォーキング」

ドイツでは、クアオルトで疾病の治癒、緩和、予防等の療養が行われ、公的医療保険の対象となっています。「クアオルト健康ウォーキング」とは、ドイツのクアオルトで心臓リハビリや高血圧の治療に活用されている自然の野山を活用した運動療法「気候性地形療法（野山の傾斜地+冷気と風の活用）」を基本とした健康ウォーキングであり、日本では、日本クアオルト研究機構により研究が行われ、山形県上山市ほか全国7つの自治体で実施されています。また、日本型のクアオルトを目指して8つの自治体が日本クアオルト協議会を組織し、クアオルト健康ウォーキングをはじめ様々な健康増進プログラムの取り組みが行われています。



認知症治療保険 働きなくなったときの保険



<「上山型温泉クアオルト（健康保養地）活用包括的連携に関する協定書」調印式実施概要>

〔開催日〕平成28年10月3日（月）

〔場 所〕太陽生命保険株式会社本社会議室（東京都中央区日本橋）

〔参加者〕太陽生命保険株式会社 田中 勝英代表取締役社長

山形県上山市 横戸 長兵衛市長

環境省 正田 寛大臣官房審議官 ほか



協定書に署名する田中社長（左）と横戸市長



（左から）

副島副社長、田中社長、横戸市長、正田大臣官房審議官

※調印式は、環境省（温泉地保護利用推進室）の立会いの下行われました。

以 上